

2011（平成23年度）第1回 教育研究審議会議事録（概要）

1 日 時 平成23年4月1日（金）

午前10時50分から

2 場 所 第2会議室

3 出席者

石川	大宮	田中	津川	水口
村山	大河原	矢野	戸所	佐々木
唐澤	鷺山			

4 議 事

（1）中期計画について

学長から、概要についての説明があり、原案のとおり承認したいとの提案があり、承認。

（2）業務方法書について

学長から、原案のとおり承認したいとの提案があり、承認。

（3）学則及び大学院学則について

学長から、原案のとおり承認したいとの提案があり、承認。

（4）諸規程の制定について

ア 公立大学法人高崎経済大学基本規則

イ 公立大学法人高崎経済大学教育研究審議会規程

ウ 公立大学法人高崎経済大学学長選考会議規程

エ 公立大学法人高崎経済大学部局長の選考に関する規程

学長から、上記アからエまでの規程については、原案のとおり承認したいとの提案があり、承認。

オ 高崎経済大学学生部規程

第3条の第1号のキャリア支援センターと第2号の学生支援センターは、順序を入れ替えることとした。

上記の議論を踏まえ、学長から所要の修正を加えたうえで制定したいとの提案があり、承認。

- カ 高崎経済大学学術情報センター規程
- キ 高崎経済大学国際交流センター規程
- ク 高崎経済大学地域連携戦略室規程
- ケ 高崎経済大学広報センター規程
- コ 高崎経済大学キャリア支援センター規程
- サ 高崎経済大学学生支援センター規程

学長から、上記カからサまでの規程については、原案のとおり制定したいとの提案があり、承認。

- シ 高崎経済大学教授会規程

第3条中の構成員に助教は入っていないが表現はこのままとし、今後必要となった際に追加することとした。

第8条第3項のただし書は、拡大解釈される可能性があるため削除することとした。

第10条第2項第6号中のただし書の軽易なものは、教育研究審議会において判断することとした。

学長から、上記の議論を踏まえて、全体について意見をいただき13日に再度検討することとしたいとの提案があり、承認。

- ス 高崎経済大学研究科委員会規程
- セ 公立大学法人高崎経済大学事務分掌規程
- ソ 公立大学法人高崎経済大学就業規則
- タ 公立大学法人高崎経済大学有期雇用職員就業規則
- チ 公立大学法人高崎経済大学職員の任期に関する規程
- ツ 公立大学法人高崎経済大学職員兼業規程

学長から、上記スからツまでの規程については、原案のとおり承認したいとの提案があり、承認。

- テ 公立大学法人高崎経済大学教員の学外研究に関する取扱細則

学長から、全体について意見をいただき13日に再度検討することとしたいとの提案があり、承認。

ト 公立大学法人高崎経済大学教員の採用及び昇任に関する規程

ナ 公立大学法人高崎経済大学教員の採用及び昇任に関する取扱細則

教員の採用に当たっては、上記ト及びナの規程以外に学部の事情を考慮し、現在の内規を再検討する必要があることを確認した。

教員の人事の内規については、両学部長が中心となり修正案を作成し、各学部教授会で検討し、教育研究審議会で審議したうえで、再度教授会で検討した上で、教育研究審議会で決定することとした。

学長から、上記テ及びトの規程については、原案のとおり承認したいとの提案があり、承認。なお、上記の議論を踏まえ、運用上必要な内規等については、さらに検討することとなった。

ニ 公立大学法人高崎経済大学職員再雇用規程

ヌ 公立大学法人高崎経済大学職員懲戒規程

ネ 公立大学法人高崎経済大学報酬及び謝金に関する規程

学長から、上記ニからネまでの規程については、原案のとおり承認したいとの提案があり、承認。

2011（平成23年度）第2回 教育研究審議会議事録（概要）

1 日 時 平成23年4月13日（水）

午後2時から

2 場 所 第2会議室

3 出席者

石川	大宮	田中	津川	水口
村山	大河原	矢野	戸所	佐々木
吉武	唐澤	鷺山		

4 報告

（1）理事会の報告について

第1回理事会では、中期計画、学則、規程の制定、予算案、労使協定書（案）、架け橋プロジェクトの後援、入学式の時間変更が承認されたことについて報告があった

第2回理事会では、研究費取扱規程、情報公開規程、個人情報保護規程の制定について承認された。また、報告事項として震災の経過報告、寄附金、大学評価結果、ハラスメント防止対策委員会の委員の指名、FDとSDの計画案、理事会等の日程、労使協定締結の報告があった。

（2）高崎経済大学に対する大学評価（認証評価）結果について

学長から、概要について報告がなされた。助言は16件、勧告が1件あり、助言については3年間の方針等を報告すること。また、勧告については必ず実現しなければならないが、勧告の内容については4月1日現在で解消されたが、3年間での回答であるため、今後停年退職によって再び基準を下回ることをの注意する。なお、学部、研究科、新組織で対応する事項は各組織で対応することが確認された。

（3）平成23年度入学試験日程について

学長から別紙のとおり報告があった。

(4) その他

①連携交流担当副学長

- ・平成23年度FD&SD研修会年間計画表(案)について

FD及びSD研修の年間予定表が示され、初回は4月27日に実施することが確認された。

②地域政策学部長

- ・地域政策学部から教育研究審議会への確認と検討依頼事項について

今後の高校訪問は広報センターの事業として行うことが確認された。

総務省出向の専任教員を例とし、今後任期付教員制度の活用を検討すべきとの提案があり、経済学部や大学院を含め総合的に検討すべき旨の報告がなされた。

③学生部長

- ・学生団体連絡協議会について

4月13日に開催した会議において、義援金は約56万円で赤十字に提出するとの報告がなされた。

シラバスや履修登録が本年度から電子化され、学生から不満が出ているため、学生の声を聴き改善を進めるとともに、新入生用の紙によるシラバスも検討することが確認された。

④学術情報センター長

- ・調整会議等の開催について

情報と図書館の調整会議を毎週水曜日の9時30分から行うこととした。

4月13日に第1回を開催し、4月13日からの図書館ガイダンス、新たに図書館だよりを発刊することを決定したとの報告がなされた。

⑤事務局

- ・一財団法人高崎経済大学後援会学術研究図書買取助成に関する取扱要綱について

刊行助成制度を上記助成制度に変更する。助成額は1件40万円、申請は後援会事務局に提出することが報告された。対象期間を検討するよう要望することを確認した。

- ・避難所の掲示について

各教室に避難所を示した資料を配布してあるので確認願いたい。

- ・教授会への教育研究審議会の報告方法について

教育研究審議会の審議内容について同月開催の教授会に議事録の暫定版を作成し報告する。その際の資料は必要のあるもののみ配布することを確認した。

- ・平成23年度予算について

上記の件について別紙のとおり報告があった。なお、今後項目及び内容について修正する可能性がある。

5 議事

(1) 平成23年度理事会等日程表について

教育研究審議会は午前10時からとし、同日の午後に理事会を開催することを基本とする。ただし同日に教授会が予定されている場合は理事会を別日程とする。以上に基づいて、学長から、配布資料のとおり提案があり、承認。

(2) 諸規程の制定について

諸規程について、組織名称や公立大学法人等の字句の変更については事務局に一任の上、以下のとおり、承認。

1 公立大学法人高崎経済大学教育研究審議会規程

議事録署名人に関する項目を追加した。

2 高崎経済大学教授会規程

第10条第2項第3号の空白になっている委員会は学生委員会とする。

3 公立大学法人高崎経済大学教員の学外研究に関する取扱細則

第2条第2項第5号の「学内」は、学外での業務もあるためこれを除くこととする。

4 高崎経済大学入学試験実施の基本方針について

5 高崎経済大学大学入試センター試験実施小委員会要項

学生支援センター長を新たに加えた。

6 高崎経済大学学生委員会規程

第2条の職務内容の変更、組織を明確にした。

7 高崎経済大学学生相談室に関する規程

8 高崎経済大学学生相談連絡会議規程

9 高崎経済大学における独立行政法人日本学生支援機構奨学生の推薦、選考及

び認定に関する規程

- 10 高崎経済大学職業紹介業務運営規程
- 11 高崎経済大学交換留学生規程
- 12 高崎経済大学外国人留学生チューター制度実施要綱
- 13 高崎経済大学図書館運営規程
- 14 高崎経済大学図書館規程
- 15 高崎経済大学図書館図書管理規程
第3条第1項第3号中の「廃棄」は、第14条に定めがあるため削除する。
- 16 高崎経済委大学図書館文献複写取扱規程
- 17 高崎経済大学図書館県民公開要綱
第6条の利用手続きや第8条の館外利用について明確化した。
- 18 高崎経済大学産業研究所規程
- 19 高崎経済大学産業研究所細則
- 20 高崎経済大学地域政策研究センター規程
- 21 高崎経済大学地域政策研究センター細則
- 22 高崎経済大学経済学部自己点検・評価委員会規程
両学部両研究科は統一を図り、大学院規程には学部長は除き、学部規程からは研究科長を除くものとした。
- 23 高崎経済大学経済学部入学試験運営委員会規程
- 24 高崎経済大学経済学部教務委員会規程
- 25 高崎経済大学経済学部教養教育委員会規程
- 26 高崎経済大学経済学部教職課程運営委員会規程
- 27 高崎経済大学地域政策学部自己点検・評価実施委員会規程
経済学部の同規程と統一を図るものとする。
- 28 高崎経済大学地域政策学部入学試験運営委員会規程
- 29 高崎経済大学地域政策学部教務委員会規程
- 30 高崎経済大学地域政策学部編入学生等单位認定委員会規程
- 31 高崎経済大学地域政策学部実習運営委員会規程
- 32 高崎経済大学地域政策学部教職課程運営委員会規程
- 33 高崎経済大学大学院地域政策研究科自己点検・評価実施委員会規程
- 34 高崎経済大学大学院地域政策研究科入学試験管理委員会規程
- 35 高崎経済大学大学院地域政策研究科博士課程委員会規程

- 36 高崎経済大学大学院経済・経営研究科自己点検・評価実施委員会規程
- 37 高崎経済大学大学院経済・経営研究科入学試験管理委員会規程
- 38 高崎経済大学大学院経済・経営研究科教務委員会規程
- 39 高崎経済大学大学院研究科担当教員選考委員会規程
- 40 高崎経済大学学位規程
- 41 高崎経済大学経済学部規程
- 42 高崎経済大学経済学部科目等履修生規程
- 43 高崎経済大学経済学部聴講生規程
- 44 高崎経済大学経済学部追試験に関する規程
- 45 高崎経済大学地域政策学部規程
- 46 高崎経済大学地域政策学部科目等履修生規程
- 47 高崎経済大学地域政策学部聴講生規程
- 48 高崎経済大学地域政策学部追試験に関する規程
- 49 高崎経済大学大学院地域政策研究科科目等履修生規程
- 50 高崎経済大学大学院地域政策研究科聴講生規程
- 51 高崎経済大学大学院地域政策研究科特別聴講生規程
- 52 高崎経済大学大学院地域政策研究科研究生規程
- 53 高崎経済大学大学院経済・経営研究科科目等履修生規程
- 54 高崎経済大学大学院経済・経営研究科聴講生規程
- 55 高崎経済大学大学院経済・経営研究科特別聴講生規程
- 56 高崎経済大学大学院経済・経営研究科研究生規程
- 57 高崎経済大学大学院ティーチング・アシスタント実施規程
- 58 高崎経済大学大学院リサーチ・アシスタント実施規程
- 59 高崎経済大学大学院生の学部授業科目履修規程
- 60 大学院における優れた研究業績者等の認定方法等に関する取扱規程
- 61 公立大学法人高崎経済大学研究費取扱規程

対象となる研究に翻訳を含めるかは検討する。本規程の他、細則を検討する。第7条中の「限度」は「上限」へと変更する。

研究費の総額は47万円であり、その内訳は各自裁量となる。そのうち2万円分は生協での購入分に割り当ててあるが増減は可能である。研究費は立替払いが可能であるが、その場合購入物品と領収書を事務局まで持参し検品を行わなければならない。しかし、生協購入の場合は検品が省略される。

研究費で購入した物品等は全て大学の所有であるため、従来の研究用備品で購入したパソコンなどは、大学の修繕費を充てることとする。

県内旅費支給の見直しは今後研究する。

労働基準法に抵触しなければ、学生アルバイトを大学が雇用し研究費から支払が可能となるが、取扱いについては他大学を調査する。

62 高崎経済大学名誉教授称号授与規程

名誉教授称号の授与は、大学名で行うものとする。また、特別な対応は第2条第2号とし、本学以外の勤務日数は他大学を調査する。

63 公立大学法人高崎経済大学公印規程

64 公立大学法人高崎経済大学情報公開規程

65 公立大学法人高崎経済大学個人情報保護規程

66 高崎経済大学入試情報公開等に関する規程

67 高崎経済大学入学者選抜に係る簡易開示実施規程

68 高崎経済大学証明書取扱要領

(3) 各種委員等の任命について

大学生の就業力育成支援事業推進委員会の委員は名簿のとおりであるが、地域政策学部教務委員長が変更された。名簿のうち未定部分は今後教授会の議を経て決定される。

各センターの委員は、各センター長と学部長の協議により別紙のとおり提案された。競争的資金等不正防止推進委員は、別紙のとおり各学部からの推薦があった。

公立大学法人高崎経済大学ハラスメントの防止等に関する規程第5条第3項第5号に規定するハラスメント防止対策委員会委員は理事長から2人が指名された。

同規程第6条第2項第1号に規定するハラスメント相談室相談員は委員長から4人が指名された。

高崎経済大学学生相談室に関する規程第4条第1項の規定により、学生相談室長を別紙のとおり学長が指名した。

同規程第5条第1項に規定する相談員は、別紙のとおり8人を学長が指名した。

高崎経済大学学生委員会規程第3条第2号に規定する学生委員4名が、教授

会の承認を前提に、別紙のとおり指名された。

高崎経済大学図書館運営規程第2条第2項の規定により、図書館長が副館長を指名した。

学長から、原案のとおり承認したいとの提案があり、承認。

(4) 平成24年度教員採用人員数について

学長から、優秀な人材を確保するため早期に公募したいとの発言がなされた。採用人員数については、経済学部5名、地域政策学部1名を募集するとの提案があり、承認。

人事の日程等は両学部で調整する。

(5) 除籍の取り扱いについて

学長から、授業料未納のため地域政策学部の留学生が学則の規定に基づき3月末日をもって除籍されたが、4月になってから授業料を納入したいとの要望があったため、除籍されたこの学生を復籍させることが可能であるかどうか検討をした。

授業料未納による除籍からの復籍は、学則の転入学や再入学とは別に考え、新たな規程の整備が必要である。その場合、遡及適用すると説明責任を果たすことが難しくなるとの議論を踏まえて、本学生の復籍については認められない。ただし、復籍規程については前期中に検討をすることで、承認された。

(6) その他

①高崎経済大学の教員にかかる勤務予定等の報告について

裁量労働制に伴い勤務予定表に勤務日等を記入し、4月28日までに総務課まで提出願いたい。併せて兼業許可(変更)申請書も提出願いたい。

2011（平成23年度）第3回 教育研究審議会議事録（概要）

1 日 時 平成23年5月11日（水）
午前10時から

2 場 所 第2会議室

3 出席者

石川	大宮	田中	津川	水口
村山	大河原	矢野	戸所	佐々木
吉武	唐澤	鷺山		

4 報告

（1）学長報告

①節電対策について

授業での節電について、理事会決定後に教員に依頼するので協力願いたい。

②文部科学省等からの文書の取り扱いについて

3月25日付けの文部科学省の文書が学長まで届かなかったため、事務処理を確実にし、所属長の判断により、理事長や学長から回覧するなど事務を改善することが確認された。

③4月の会議等への出席状況について

休暇の場合は、休暇届を適切なタイミングで提出することが確認された。

④学内の競争的研究費の申し込みについて

資料は配布済みである。締め切りは5月31日である。本制度については、運用をみて来年度以降に見直しを行うものとする。また、科研費の応募結果は、30件申請し11件が採択された。

⑤国外派遣研究者の募集について

資料は配布済みである。申し込みは6月1日から7月29日までである。

（2）連携交流担当副学長報告

FD・SD研修として6月に学生部を中心としたメンタルヘルス研修を実施する。また、年度計画は5月25日に打ち合わせを行い6月1日に取りまとめ

る。

(3) 企画広報担当副学長報告

本学の施設貸出料を検討する。本学の職員が関係するものとそれ以外のものは区別することを基本とする。

(4) 経済学部長報告

上記については、別紙のとおりである。

学内の競争的研究費について意見が出されたが、詳細は未定のため今後検討することとした。また、新任人事は、将来を見据えて代表者会議を設置し検討することとした。

(5) 地域政策学部長報告

上記については、別紙のとおりである。

震災に関連した特別推薦入試制度を検討した。また、昇任・新任人事については、内規を検討し素案を提案した。

(6) 地域政策研究科長報告

上記については、別紙のとおりである。

(7) 経済・経営研究科長報告

上記については、別紙のとおりである。

入試制度について入試管理委員会が検討した。また、大学院生学部授業科目履修願は志望理由の記載欄を設けた様式を提案することとした。

(8) 学生部長報告

上記については、別紙のとおりである。

前期授業料減免審査委員会を開催した結果について報告がなされた。

申請件数 182 件、減免額 1,371 万円

東北地方太平洋沖地震の被災減免について報告がなされた。

新入生申請件数 14 件、減免総額 329 万円、在学生申請件数 現在 63 件
第 1 回キャリア支援センター運営会議について報告がなされた。

学生相談体制については、本年度からカウンセラーを増員し、相談日を月曜日から金曜日まで行うこととした。

財団法人岡村育英会奨学生の推薦について、本年度 4 名の推薦を行うこととする報告がなされた。

(9) 学術情報センター長報告

上記については、別紙のとおりである。

平成 23 年度図書購入配分計画について報告がなされた。また、基本文献図書の廃止、郷土資料は共通図書費に、大学院は学部を含めることとした。なお、郷土資料は、寄贈資料が大量に未整理の状況であり、これを整理しデータベース化することを優先することとした。

(10) 地域連携戦略室長報告

上記については、別紙のとおりである。

(11) 国際交流センター長報告

上記については、別紙のとおりである。

チューター制度の概要と改革案について、報告がなされた。両学部とも期間を 1 年 6 か月とし、手引きの手直しを行い、地域政策学部では日本語論文指導から、引き続き担当した留学生を受け持つこととする。

夏季短期語学研修の説明会を本日と 18 日に実施する。研修先はアメリカ UT M と中国中央財経大学で、各 10 名以上で実施予定である。

アイルランドとドイツからの交換留学生を各 2 名で交渉している。将来に向け課題を抽出して検討を行うことが確認された。

地域政策学部では、6 月 1 日に第 1 回留学生サービスプログラムを実施する予定である。今年度は、経済学部の希望者も全員参加できるよう予算を工夫する。また来年度以降については、国際交流センター長と両学部長で検討することが確認された。

(12) 広報センター長報告

4 月 27 日に第 1 回広報センター運営会議を開催し、事業の見直しと広報戦略づくりを進める。また、ホームページの更新作業を進めていることが報告された。

(13) 事務局報告

教員免許状更新講習の開催について

仮申し込み人数は 201 人、本申し込みの締め切りは 6 月 8 日である。講習は 8 月 8 日から 8 月 12 日まで実施する。

5 議 事

(1) 産業研究所の所員について

学長から別紙所員名簿のとおり提案があり、承認。

(2) 地域政策研究センターの所員について

学長から別紙所員名簿のとおり提案があり、承認。

(3) 平成 24 年度入学試験実施に伴う組織的対応について

学長から、入学試験の人員配置について、構内への立入制限の責任者を学生部長から事務局長へ、受付責任者を学生委員長から学生課長へ変更するなどの案が示され、承認。

(4) 平成 24 (2012) 年度入学試験に伴う大学構内への立ち入り制限について

学長から提案され原案のとおり承認。

(5) オープンキャンパスの日程について

開催日は 7 月 17 日 (日) 及び 9 月 25 日 (日) として提案され、承認。

(6) 高大連携担当教員の選出について

学長から、高大連携運営協議会と高大連携運営委員会が組織されるため、地域連携戦略室から高大連携担当教員を選出したいとの提案があり、承認。

(7) 外国人留学生チューターの推薦について

学長から原案のとおり承認したいとの提案があり、承認。

(8) 平成 24 年度特別推薦入試の実施について

学長から、地域政策学部から報告のあった本件について、経済学部も同様に実施し、定員外で若干名を募集することとする。入学金と 4 年間授業料は徴収しないものとして理事会に報告することとして提案され、承認。

また、詳細は合同の入試運営委員会で検討し次回提案する。なお、次年度以降については、今年度の状況を踏まえ検討する。

2011（平成23年度）第4回 教育研究審議会議事録（概要）

1 日 時 平成23年6月8日（水）
午前10時から

2 場 所 第2会議室

3 出席者

石川	大宮	田中	津川	水口
村山	大河原	矢野	戸所	佐々木
吉武	唐澤	鷺山		

4 報告事項

（1）学長報告

①第3回理事会報告について

・奨学奨励費（仮称）及び研究奨励費（仮称）について

学長から、前者を理事長、後者を学長枠として各300万円を予算化し、詳細が決定次第、周知を図り募集することが報告された。

②平成23年度公立大学協会第75回総会（5月24日開催）について

学長から、福山市立大学が入会し81大学となり、会長に大阪府立大学の奥野武俊学長が就任されたことが報告された。

③本学卒業生の大学院入学金について

学長から、第3回理事会において依頼した本件について、本日（6月8日）の理事会に両研究科長名で理事会に依頼文を提出することが報告された。

④チューターに関する規程について

高崎経済大学外国人留学生チューター制度実施要綱第4条及び第7条により、国際交流センター長からの推薦者を学長が承認し、議事ではなく報告とすることが確認された。

⑤研究費取扱規程に関する質問（第2回教育研究審議会）への回答について

第2回教育研究審議会で質問のあった研究費の使用について、学長から回答があった。1点目は県内旅費を認めること、2点目は学生アルバイトに係る費

用も認めることとするが、事務局と必ず打ち合わせること。これには科研費など学外研究費も含まれることが確認された。

(2) 副学長報告

連携交流担当副学長報告

第2回FD&SD（メンタルヘルス）研修会について

日時：6月22日（水）午後1時から

(3) 経済学部長報告

2011年度第2回教授会（2011年5月18日開催）の報告が別紙によりなされた。

(4) 地域政策学部長報告

2011年度第2回教授会（2011年5月18日開催）の報告が別紙によりなされた。柴田芳幸前教授を名誉教授として学長に推薦することが報告された。

(5) 地域政策研究科長報告

2011年度第2回研究科委員会（2011年5月18日開催）の報告が別紙によりなされた。

(6) 経済・経営研究科長報告

2011年度第2回研究科委員会（2011年5月18日開催）の報告が別紙によりなされた。大学院説明会は、大学院版のオープンキャンパスとして行い受験生の増加を図ることが報告された。

(7) 学生部長報告

学生部長から別紙により報告がなされた。平成23年度前期授業料減免審査委員会では、被災減免として減免件数63件、前期授業料減免合計額863万円である。また、学生支援センターでは、財団法人日本国際教育支援協会の留学生住宅総合補償の加入を検討することが報告された。

(8) 学術情報センター長報告

「学術情報センター・グランドビジョン2012」の策定により、図書館の在り方を検討し、郷土資料は特別図書として整理することが報告された。

(9) 国際交流センター長報告

国際交流センター運営会議（6月15日開催予定）への提出案件が別紙のとおり報告された。アメリカ・UTMへの夏季短期語学研修は、7名で進めることが報告された。

(10) 広報センター長報告

5月26日と6月1日に広報センター運営会議を開催し、年度計画や駅などへの広告掲示の検討が報告された。

(11) 事務局報告

学務課から、学部及び大学院で使用する備品について要望のとりまとめが依頼された。

(12) その他

①被災者支援及び特別推薦入試の記者発表について

学長から、6月9日(木)に被災者支援及び特別推薦入試の記者発表を行うとの報告がなされた。

②ラジオゼミナール及び公開講座の講師について

地域連携戦略室長から、ラジオゼミナール及び公開講座の講師を7月に依頼する予定であることが報告された。

5 議事

(1) 名誉教授の称号授与について

地域政策学部長から柴田芳幸前教授の名誉教授への推薦について説明がなされた後、学長から称号授与の決定について提案があり、承認。

(2) 節電対策について

本学での対応について学長から提案され、承認。

試験等の日程の変更については、学長、副学長、学部長、研究科長、学生部長、事務局長により議論し、事後承認となったものである。日程変更に関する質問等に対して学生は学務課、教員は学長、学部長及び研究科長が対応することが確認された。

①本学の対応について

ア) 前期試験等の日程変更

前期開講期間(12週)	4月8日(金)から7月7日(木)まで
前期試験日程	7月8日(金)から7月14日(木)まで
前期授業総括期間	7月15日(金)から7月21日(木)まで
追試験受験出願締切日	7月21日(木)
夏季休業	7月22日(金)から9月30日(金)まで

イ) 警告体制の整備

- ウ) 冷房の管理は室温 28 度及び冷房機の一部停止
- エ) 照明の削減は、各棟事務所部分、廊下、トイレとし、講義終了後の消灯を徹底
- オ) 夏季休業中の使用教室は、2 号館、7 号館及び 3 号館 323 教室
- カ) グラウンド照明利用は、午後 9 時まで
- (3) 高崎経済大学情報セキュリティ委員会規程（案）について
学長から原案のとおり提案され、承認。
- (4) 公立大学法人高崎経済大学競争的研究費取扱細則（案）について
学長から原案のとおり提案され、承認。公立大学法人高崎経済大学研究費取扱規程及び本細則は、来年度に向け見直しを行う。公立大学法人高崎経済大学研究費取扱規程の第 8 条の取り扱いは、本年度から 3 年とする。
- (5) 産業研究所の所員の追加任命について
学長から原案のとおり提案があり、承認。
- (6) 地域政策研究センターの所員の追加任命について
学長から原案のとおり提案があり、承認。
- (7) 特別推薦入試について
両学部合同検討会議において検討された結果について、地域政策学部長からの説明がなされた後、学長から提案。出願資格のうち原発事故による避難者等は、10 月末日現在原則として避難区域等であることで、承認。
- (8) 競争的研究費の審査について
教育研究審議会の審議の結果、平成 23 年度の特別研究助成金 A は 10 件の申請に対して 9 件を採択。特別研究助成金 B は 6 件の申請に対して 2 件を採択。また、特別研究助成 B の不採択のうち 1 件を研究奨励費（仮称）で対応することとする提案があり、承認。なお、出版助成を 9 月末までに 2 件分を改めて募集することも承認。

特別研究助成金 A

	学部・職	氏名
1	経済学部・教授	久宗周二
2	経済学部・准教授	藤井孝宗

3	経済学部・准教授	宮田 庸一
4	地域政策学部・教授	大河原 眞美
5	地域政策学部・教授	熊澤 利和
6	地域政策学部・講師	木暮 律子
7	地域政策学部・准教授	土肥 将敦
8	地域政策学部・准教授	西沢 淳男
9	地域政策学部・教授	増田 正

特別研究助成金B

	学部・職	氏名
1	経済学部・准教授	谷口 聡
2	地域政策学部・教授	吉田 俊幸

(9) 年度計画（平成23年度）について

学長から、昨日（6月7日）理事長、学長、副学長、事務局長及び担当課長で議論し、取りまとめた報告がされた。記載内容については表現を平準化し統一した。6月の教授会に案を提案するため、意見や疑問は今週中に事務局まで提出することが確認された。

(10) 平成22年度後期の授業評価の公表について

学長から、公表の方法について提案された。本学のホームページに平均値を公表するが、その詳細は学部長、研究科長及び学務課で検討することで、承認。また、授業評価結果を基にFD研修を行うことが確認された。

(11) 高崎経済大学・東日本大震災復興支援プログラムについて

地域政策学部長から、さまざまな取り組みに対して支援することを趣旨として、高崎経済大学・東日本大震災復興支援プログラムとしたことが報告された。学長から、3つの柱のひとつの「被災地域のボランティア活動」は、両学部長を中心に議論し、教育研究審議会に提案することが示され、承認。

2011（平成23年度）第5回 教育研究審議会議事録（概要）

1 日 時 平成23年7月13日（水）
午前10時から

2 場 所 第2会議室

3 出席者

石川	大宮	田中	津川	村山
大河原	矢野	戸所	佐々木	吉武
唐澤	鷺山			

4 報告事項

（1）学長報告について

① 第2回経営審議会報告

・平成23年度予算の補正について

減免額を差し引きした後の予算が計上されていたため、収入及び支出を個別に計上する予算の補正の承認が報告された。

② 第4回理事会報告

・職員採用について

理事会で決定したが、公表はホームページで行うので確認願いたい。また、来年度は、9月までには合否を出せるように検討することが報告された。

③ 奨学奨励費・研究奨励費について

事前に資料が届いているが、高崎経済大学奨学奨励費取扱要綱及び高崎経済大学研究奨励費取扱要綱が制定されたので募集を始めている。特に研究奨励費は期限が迫っているので、早めに申し込み願いたい。

④ 長期海外研修について

7月末が締め切りであるが、現在応募は1名である。募集定員を超えた場合は、8月の教授会にて審議し、教育研究審議会で決定する。

⑤ 高等学校教員対象の大学説明会に合わせたアンケートの結果について

進路指導に際し、有効な情報源は大学のホームページ、大学案内、オープンキャンパスが上位を占めており、今後はホームページの作成に力を入れることが確認された。

⑥ 会議出席の優先について

現在水曜日を会議日としている。当日急に会議を開催するとした場合でも対応できるよう会議を最優先することを改めてお願いする。

⑦ 除籍された学生の復籍について

本日提案予定であったが、次回以降に提案することが報告された。学則の再入学で対応できるか検討したが、復籍を再入学に含める場合に、学則その他の規程が影響を受けることが考えられ細部まで確認する必要がある。

⑧ 後援会や同窓会等への要望について

後援会や同窓会等への新規要望は学長を窓口とすることが確認された。

(2) 連携交流担当副学長報告

本学陸上部が陸協と協力して公式記録会「第4回高崎経済大学記録会」が7月9日に開催され、市内小・中学生620人の参加が報告された。

(3) 経済学部長報告（欠席のため経済・経営研究科長が報告した。）

2011年度第3回教授会（2011年6月15日開催）が別紙により報告された。

(4) 地域政策学部長報告

2011年度第3回教授会（2011年6月15日開催）が別紙により報告された。

(5) 地域政策研究科長報告

2011年度第3回研究科委員会（2011年6月15日開催）が別紙により報告された。

(6) 経済・経営研究科長報告

2011年度第3回研究科委員会（2011年6月15日開催）が別紙により報告された。

(7) 学生部長報告

① 第3回高崎経済大学六者会議について

学内で宗教団体が勧誘活動をしており、代表者に対して本学内での勧誘活動の中止を求めた。今後は改めて学内掲示を行い、注意喚起を促すとともに保護者にも情報提供を行うことが確認された。

② 授業料減免について

東日本大震災による授業料減免は、今年度は随時申請を受けられるよう柔軟に対応しており、新たに3人が追加され、分割許可を含めると71人となることが報告された。

③ 体育会本部主催の行事における事故について

5月18・19日に草津温泉で実施されたフレッシュマンズキャンプの懇親会の際に学生が1人行方不明となった件について、6月からは水戸市内の医療センターの高度医療を受けたが、凍傷のため左足の指2本を切断する結果となった。現在はリハビリ中である。体育会本部が対応し、学生課が支援していることが報告された。

④ 留学生住宅総合補償の加入について

留学生が住宅を借りる際の賃貸借契約にともなう連帯保証が行えるよう加入金を支払い、協力校として加盟した。これにより教職員の保証人が不要となることが報告された。

(8) 学術情報センター長

年度当初に図書館の開館日程をお知らせしたが、試験日程の変更等により図書館の開館日程も変更することが報告された。

(9) 地域連携戦略室長報告

・受託調査依頼の受け入れについて

2件の受託調査依頼があり、1件目は渋川市から路線バス事業見直しのための調査業務を経済学部の大島登志彦教授が、2件目は群馬県藤岡土木事務所から神流湖イメージアップ検討会住民意識調査業務を地域政策学部の伊藤亜都子准教授を業務従事者として受託することが報告された。

(10) 国際交流センター長報告

・地域政策学部留学生1年生向けチューターについて

本年度は、日本語論文指導と連携してチューターを任命する新しい試みを行ったため時間を要したが、18人のチューターが国際交流センター委員会での承認を得たとの報告がなされた。

(11) 広報センター長報告

① オープンキャンパスの開催について

7月17日にオープンキャンパスを開催するので協力願いたい。

② たかけい学報の配布について

全学生の保護者に配布してできるよう準備中であることが報告された。

③ 大学案内及び大学院案内の配布時期について

例年6・7月となっていた大学案内等を来年度以降は、4月中の配布を目指して準備することが報告された。

(12) 被災地支援ボランティアについて

募集開始4日で定員が埋まるほど学生の関心の高さがあらわれた結果となった。受け入れ先はピースボート災害ボランティアセンターである。大学からも支援をいただき感謝申し上げる。現在はE日程8月4日出発の追加募集を行っていることが、地域政策学部長から報告された。

また、高崎経済大学被災地支援ボランティア推進委員会は、学長、副学長、学部長、学生部長及び中心となっている教員で構成されている。

(13) 事務局報告

学務課長から、平成23年度教員免許状更新講習受講者について、192人の本申し込みがあったことが報告された。選択科目も定員を設けたためバランスのとれた受講者数であること、今年度はアンケート調査を行っており、ホームページにより講習情報を得ている者が最多である結果が得られた。

経営企画課長から、研究棟の西側、喫煙所の横の出入口を管理上の問題で午後6時に閉鎖する。また、高崎信用金庫のATMの設置について、7号館の1階のエレベーター正面に設置するよう調査を行っていることが報告された。

(14) 教員プロフィール及び業績のホームページの掲載について

経済・経営研究科長から、中期計画及び年度計画に記載されている教員プロフィール及び業績を早急に公表すべきとの提案があり、企画広報担当副学長と広報センター長が中心となり進めることが確認された。

5 議題

(1) 地域政策研究センター研究員の委嘱について

高崎経済大学地域政策研究センター規程第3条第1項及び同条第4項により学長から資料のとおり提案があり、地域政策研究センターにおいて研究員の定義を定めることを条件とし、承認。

(2) 地域政策研究センターの所員の追加任命について

学長から原案のとおり提案があり承認。

(3) 昇任人事 新任人事 内規について

学長から、本内規について提案され、本審議会の議論を踏まえ修正し両教授会に提案することを承認。また、本件は本審議会及び両教授会による審議を繰り返すことで意見の調整と統一を図り、内容を精緻化することが確認された。

(4) 学生の懲戒について

地域政策学部の学生が、窃盗の疑いで5月24日に逮捕され、6月13日に起訴されたことにより、休学を解除し無期停学とする地域政策学部教授会の提案を承認。また、停学及び退学などの学生の懲戒処分は、教育研究審議会の議事とすることが確認された。

(5) 大学院棟（4号館）の長期休業中の利用について

平日：月～金 8時から22時まで（届出を不要とする。）

休日：土・日・祝日 8時から22時まで（届出を必要とする。原則本人が前日までに申請し、指導教官が届出することも可とする。長期休業以外も同様の取り扱いとする。）

(6) 高崎経済大学奨学奨励費審査会委員について

高崎経済大学奨学奨励費取扱要綱第9条第1項第5号に規定する委員について、企画広報担当副学長が教育研究審議会委員の中から、国際交流センター長、広報センター長を指名し承認。

(7) 高崎経済大学研究奨励費審査会委員について

高崎経済大学研究奨励費取扱要綱第9条第1項第5号に規定する委員について、連携交流担当副学長が教育研究審議会委員の中から、地域政策研究科長、地域連携戦略室長を指名し承認。

2011年度（平成23年度）第6回教育研究審議会議事録（概要）

1 日 時 平成23年8月10日（水）
午前10時から

2 場 所 第2会議室

3 出 席 者

石川	大宮	田中	水口	村山
大河原	矢野	戸所	佐々木	吉武
唐澤	鷺山			

4 報告事項

（1）学長報告

① 理事会報告

ア 衛生委員会の設置について

委員が指名されたことが報告された。

イ 高崎経済大学開学の地記念碑の設置について

開学の地（現在の高崎シティギャラリー）に大学、同窓会及び後援会の連名による記念碑を設置するため、場所の提供を依頼する要望書を高崎市に提出する予定である。

② 両学部における履修登録の上限について

大学基準協会からの指導の一つに表記の件があるが、来年度から対応できるように早めの検討を依頼する。

③ 前期卒業者に対する学位記授与式の開催について

以下のとおり開催するので、副学長、学部長、研究科長は出席をお願いする。

日時 平成23年9月27日（火） 午前11時から

場所 大会議室

（2）企画広報担当副学長報告

教員の略歴をホームページに掲載するためのフォーマットが概ね固まった。

(3) 経済学部長報告

2011年度第4回教授会(2011年7月20日開催)及び2011年度第5回教授会(2011年8月3日開催)の概要が別紙に基づき報告された。

(4) 地域政策学部長報告

2011年度第4回教授会(2011年7月20日開催)及び2011年度第5回教授会(2011年8月3日開催)の概要が別紙に基づき報告された。

(5) 地域政策研究科長報告

2011年度第4回研究科委員会(2011年7月20日開催)及び2011年度第5回研究科委員会(2011年8月3日開催)の概要が別紙に基づき報告された。

(6) 経済・経営研究科長報告

2011年度第4回研究科委員会(2011年7月20日開催)及び2011年度第5回研究科委員会(2011年8月3日開催)の概要が別紙に基づき報告された。

(7) 学生部長報告(欠席のため学長が報告した。)

前回報告のあったフレッシュマンズキャンプで事故にあった学生は、普段どおりの生活に戻り、所属している部活動にも参加している状況である。

(8) 学術情報センター長報告

- ① 学術情報センター運営会議に別紙のとおり図書館運営事業予算及び広報情報課担当予算について報告したが、この平成23年度の予算を両学部で説明願うとともに、次年度予算への意見等があれば提案願いたい。また、事務運営システムは現在開発中であるが、導入経過及び導入計画については再認識願いたい。
- ② 研究棟のネットワークの保守点検のため、8月22日(月)9時から10時の1時間アクセス停止となる。また、8月27日(土)9時から18時まで保守点検のため、学内からのアクセスが停止となる。なお、28日(日)を予備日とする。
- ③ 図書館の利用について、学外者の目的外利用や座席の占有などがあり、本年6月から制限を加えるよう変更した。今後は通常の県民利用と本学の大学院修了者を分け、大学院修了者に対する優遇措置を検討する予定である。

(9) 地域連携戦略室長報告

本年度の公開講座は、テーマを「東日本大震災と復興について考える」と題して開催するので周知願いたい。

(10) 国際交流センター長報告

本年度は、ドイツとアイルランドの交換留学生に対するチューターとして、国際交流センターの委員を中心に4名を推薦する。

(11) 広報センター長報告

7月17日(日)のオープンキャンパスでは協力いただき感謝申し上げます。参加者は1,074人であった。また、9月25日(日)に2回目を開催するので協力願いたい。なお、第1回参加者のアンケート結果を受け、模擬授業を2回実施することに変更する。そのため開催時間を午前10時から午後3時までとする。

(12) 事務局報告について

① 経営企画課

ア 防災消防訓練を8月31日(水)午前10時から実施するので承知おき願いたい。今後は出火場所及び訓練の種類など再度検討する。

イ 火災報知機の点検を8月29日(月)から9月2日(金)まで実施する。研究室内の点検も実施するので承知おき願いたい。

ウ 秋には事業ごとの来年度予算額をまとめる必要があるので、準備願いたい。

② 学務課

休講情報の連絡手段であるが、来年度を目途に携帯メールへ情報提供するよう準備している。

③ 学内の自転車問題について

学生部長と経営企画課で協議し、検討を始めている。

④ バスクルについて

群馬県がバスクルの存廃を検討しているが、シェルターがある部分までは継続する予定であると聞いている。他の部分は未定である。

5 議事

(1) 学則等の一部改正について

学生課長から、高崎経済大学学則、高崎経済大学授業料等徴収規程の一部改正及び高崎経済大学再入学に関する規程(案)について説明があり、学長から提案されたが、様々意見が出され、今回の議論を踏まえ大学院を含めて再度提案することとする。

(2) 国外派遣研究について

学長から、教授会で経済学部大石恵准教授が承認を受けた旨報告がなされ、原案のとおり承認。

(3) 年度計画の実施について

学長から、平成24年度の年度計画の策定方法及びスケジュールについて提案があり承認。また、平成23年度の年度計画の実績評価について提案があり承認。なお、来年度は進捗状況も評価する予定である。

(4) 「地域づくり協働モデル事業」について

地域連携戦略室長から概要について説明がなされた。なお、提出期限が迫っているため、委員会への参加を依頼予定の各団体から事業内容と参加の承認が得られた場合、群馬県に申請したいとの説明がなされ、学長から条件を整えれば申請したいとの提案がなされ承認。また、実施主体は地域連携戦略室とする。

(5) 2012年度行事予定表(案)について

今年度節電の影響等で前期の授業回数が減ったため、来年度以降15回の講義と試験とするのか予定を早急に検討する必要がある。配布資料は前・後期とも14回の講義と試験としてあるので、これを基に教授会で検討願いたい。

(6) その他

① 高度アグリビジネス人材育成プロジェクトについて

連携交流担当副学長から、概要について説明があり本年度も公募があった場合には速やかに申請したいとの説明があり、学長から提案され承認。

② 東日本大震災被災企業支援事業について

地域連携戦略室長から、概要について説明があったが、本件は法人又は大学として連携すべき事業であるのか、研究・教育としての目標や成果が期待できるか等を検討の上再提案し、結論を学長及び副学長に一任することで、承認。

2011年度（平成23年度） 第7回 教育研究審議会議事録（概要）

1 日 時 平成23年9月14日（水）
午前10時から

2 場 所 第2会議室

3 出席者

石川	大宮	田中	水口	村山
大河原	矢野	津川	戸所	佐々木
吉武	唐澤	鷺山		

4 報告事項

（1）学長報告

① 第6回理事会（8月10日）について

議事の年度計画の実施等については、既に行っているため省略し、承認前の議事録であるが添付してあるので確認願いたい。

② 奨学奨励費について

5件の申請があり、資料に記載された金額が決定されており、2件は支給済み残り3件も近日中に支給予定である。また、資料に記載された以外にも5件が申請されている。

③ 研究奨励費について

教員3件、大学院生1件に配当が決定された。なお、資料の2番目の研究課題は、研究成果を復興期に向けた提言として発表することとしており、本学の重点研究として位置付けた。

④ 平成24年度新規採用事務職員の応募結果について

区分A201人、区分B51人の応募があった。

⑤ GPに関する業務請負者への業務指示について

就業力育成支援事業を実施するにあたり業務請負者3人に4月から9月まで当初予定の47%が支出されており、今年度も半期が終了しているので、適切な業務指示をお願いする。

⑥ 出版助成の申請状況について

締め切りは9月末であるが、問い合わせはあったが申請は未だに無いため教授会であらためて周知願いたい。

⑦ 公立大学協会関東・甲信越地区協議会の出席について

協議会に国立大学の学生定員と運営費交付金の相関関係の資料が提示された。内容は、大規模大学への運営費交付金を減額し、この差額は自ら集めることとし、その他の大学は統廃合を行うとするものである。

⑧ 地域づくり協働モデル事業の申請について

高崎市が本事業を承諾、県に申請し採択済みである。大学が主体となるが市と協働で行うため慎重に進めるものとする。

⑨ その他

ア 公立大学法人高崎経済大学業務方法書及び中期計画の認可について

平成23年9月13日付け第102-2号により、高崎市長から認可された。業務方法書は原案のとおりであるが、中期計画は修正を条件として認可された。主な修正内容は、「長期研修・短期研修の充実とサバティカル制度の導入を図る。」を「長期研修・短期研修の充実を図る。」に修正する。「事務処理の効率化、迅速化及び経費節減のため定期的に点検を行い、事務処理方法、事務組織や職員配置の再編、見直し、外部委託の活用などを推進する。」を「事務処理の効率化、迅速化及び経費節減のため定期的に点検を行い、事務処理方法、事務組織や職員配置の再編、見直し、外部委託の活用などを推進し、職員定員の縮減を図る。」に修正するというものである。

イ 自己点検・評価報告について

自己点検・評価報告を取りまとめたCDを本日メールボックスに配布した。

ウ 忘年会の日程について

12月21日（水）に忘年会を行うので教職員は予定願いたい。

(2) 企画広報担当副学長報告

奨学奨励費については、申請手続きを再度確認願いたい。

(3) 経済・経営研究科長報告

年度計画に記載されている研究科独自のFDを予定している。

(4) 地域連携戦略室長報告

地域政策研究センター主催による地域政策セミナーを8月30日（火）に開催した。テーマは「地域づくりにおける文化資源活用ーそのねらいと効果をめぐってー」と題して実施し26名の参加者を得た。

(5) 学生部長報告

地域政策学部の学生の窃盗事件の判決は、懲役2年執行猶予3年である。対応については現在協議中である。

(6) 国際交流センター長報告

- ① 海外研修のうち中国は無事に終了し、アメリカは現在実施中であるが順調に進んでいる。
- ② アイルランドとドイツの交換留学生は、9月22日（木）に3名が入国予定であり、残る1名も含めて受け入れ準備は整っている。また、10月19日（水）に歓迎会を開催するので関係者には出席を依頼する予定である。
- ③ 地域政策学部のチューターの対面式を10月12日（水）に予定している。

(7) 広報センター長報告

- ① 9月25日（日）に2回目のオープンキャンパスを開催するので協力願いたい。模擬授業を2回ずつ開催するためスケジュールを変更した。
- ② ホームページに掲載する教員紹介について、8月26日（金）の締め切りを9月9日（金）まで延長したが、提出状況は7割であるため教授会で再度依頼願いたい。
- ③ 8月25日（木）に高崎駅改札前に本学の看板を設置した。また、9月30日（金）には新幹線ホーム上り線側にも設置される予定である。

(8) 事務局報告

① 衛生委員会報告

8月22日（月）に第1回衛生委員会が開催され、教職員に対して労働環境の把握のため「労働環境調査票」を配布するので、9月30日までに総務課宛に提出願いたい。

② 教員免許状更新講習について

受講者193名に対して192名の教員が受講した。修了証明書は190件となっている。

③ 勤務予定表と兼業許可申請書の提出について

9月30日（金）までに総務課宛に提出願いたい。

④ 定期健康診断の実施について

希望調査書を記入の上、9月26日(月)までに総務課宛に提出願いたい。

⑤ 平成24年度予算について

9月末までに来年度予算について経営企画課宛に提出願いたい。

5 議事

(1) 大学評価における指摘事項への対応について

学長から、次期大学評価は、2015年度(平成27年度)までに受けることが中期計画に記載されているため、改善報告書は2013年(平成25年度)7月までに全項目をとりまとめ提出しなければならない。また、今回の指摘事項の対応については、早期に対応できるものは平成24年度から、検討に時間を要するものも遅くとも平成25年度から対応する必要があることが説明された。勧告は1件、助言は16件であり、学部、学科及び研究科で対応すべきものは各々対応願いたい。

(2) 年度計画(平成23年度)について

学長から、実施主体別に提案があり、実施主体が全学のもののうち、自己点検・自己評価の実施と公表については、今年度実施をしなければならないため後期から検討する。次は本日の議事(1)の内容である。次に教育研究審議会が実施主体になるもののうち、1点目のデータベースの構築は、今年度設計まで行う予定である。3点目の研究計画の作成、実施、報告の制度設計は、来年度の作成、報告に向け検討する。6点目のキャンパス整備の基本方針の策定は企画広報担当副学長を中心に検討する。7点目のホームカミングデイは連携交流担当副学長を中心に来年度実施を前提に計画立案することが提案され承認。

(3) 年度計画(平成24年)について

学長から、教育研究審議会でも検討すべき平成24年度の年度計画は、学長と副学長により作成することが提案され、10月の教育研究審議会に提案し委員の意見を聴取し、修正を行うことで承認。

(4) 学則の一部改正について

学長から、学則の変更について提案され、学則、大学院学則及び授業料等徴収規程の変更について再提案された。再入学については、「欠員がある場合に限り」を削除する。休学については、刑事事件で起訴された場合などは、学則に記載することなく、その他学長が必要と認めた場合に含めるものとする。また、授業料未納は休学とし、納入が無い場合は退学とする。なお、学部の規程同様に

大学院の規程も改正する。ただし、入学金については前回提案のままとすることで承認され、これを踏まえ再度提案する。

(5) 地域政策研究センター研究員について

学長から、原案のとおり提案され、文言については今回の議論を踏まえ所要の修正を行い、次回報告することで承認。

(6) 社団法人建設設備技術協会との連携事業について

学長から、第6回教育研究審議会において学長と副学長に一任となったが再度議論するため再提案された。地域連携戦略室長から、改めて概要について説明がなされた。なお、本日地域連携戦略室運営会議の議を経た旨報告された。

本件は、大学外部との連携を行う場合の前例とはせず試験的实施とし、課題等の抽出を行い、地域連携戦略室でマニュアル及び規程等を検討・提案し、戦略室の責任を明確にするなど検証をすることで承認。なお、今回の費用については戦略室の予算の範囲内とする。

(7) 競輪公営資金による補助金交付要望書（平成24年度事業）の提出について

地域連携戦略室長から、概要について説明がなされた。学長から、地域連携戦略室が申請の窓口となるが、一般的な競争的外部資金と同じ取扱いとする旨提案され承認。

2011年度（平成23年度）第8回教育研究審議会議事録（概要）

1 日 時 平成23年10月12日（水）
午前10時から

2 場 所 第2会議室

3 出 席 者

石川	大宮	田中	水口	村山
大河原	矢野	津川	戸所	佐々木
吉武	唐澤	鷺山		

4 報告事項

（1）学長報告

① 第3回経営審議会（10月5日）について

本審議会の議題の他、公立大学法人高崎経済大学監事監査規程の制定について承認された。

② 平成24年度事務職員新規採用試験の第1次試験の状況について

1次試験の合格者は、事務職員A16人、事務職員B22人。

③ 平成24年度本学開催予定の学会開催補助要望書の提出について

予算要望書を10月末までに総務課に提出願いたい。なお、来年度以降の制度については、改めて検討することとする。

④ 平成23年度新規採用職員の採用手続きについて

試用期間が9月末で終了し、教員は学部長、副学長、学長が認め10月1日付けで本採用とした。

⑤ 平成24年度以降の新規採用職員の採用手続きについて

教員の採用については、業績審査委員会で面接を行い教授会で投票により選出され、教育研究審議会の承認を経て、理事会で決定とする。なお、新規採用教員は4月までの間に理事長及び学長との面談を行うこととする。

採用年度の4月から9月までは試用期間とし、10月から本採用とする旨を伝える。なお、来年度以降本採用する際の手続きは今後検討することとする。

る。

また、事務職員採用は、試験時期を早め、良い人材を確保する。

⑥ 大学としての取組事業の定期的中間報告について

就業力育成支援事業、地域づくり協働モデル事業、東日本大震災被災企業支援事業は、大学が取り組む事業であるため、今後本審議会及び教授会に定期的に報告し、全教員に周知を図ることとする。

⑦ FDにおいて質問のあった履修者数と評価の関係について

履修者数と評価平均点、回答者数と評価平均点、回答率と評価平均点の相関関係のデータを分析したが、いずれも相関関係はみられない。また、アンケートを実施していない科目がみられた。

⑧ その他

ア 研究室の冷暖房について

夜間や休日の研究のための冷暖房への対応として、以前の地域政策研究センター室を共同研究室として試験的に利用する。利用を希望する教員は合鍵が必要となるので経営企画課に申し出願いたい。なお、会議等の予約が無い限り平日の昼間でも利用は可能である。

イ 休日勤務による休日の割り振りについて

やむを得ぬ事情により、事前に許可を得た休日勤務の場合は、就業規則により勤務日に休日を割り振ることができる。なお、労使協定により裁量の範囲が示されており、授業、入学試験業務、会議、研修、その他特に時間を指定して行う必要のある業務の日に休日勤務の振替休日を割り振らないとしているため、あらためて確認の文書で示したものである。

(2) 副学長報告

連携交流担当副学長報告

就業力育成支援事業について、9月14日(水)と21日(水)に行った会議の概要について報告がなされた。今後は就業力育成支援講座として、1年生にキャリア開発講座、2年生にビジネス基礎講座を各々2時間6回ずつ実施する。また昨年度も実施したOBOG交流イベントを都内で11月19日(土)に、本学では1月21日(土)に実施する。

(3) 経済学部長報告

2011年度第6回教授会(2011年9月14日開催)の概要が別紙に基づき報告された。

(4) 地域政策学部長報告

2011年度第6回教授会(2011年9月14日開催)の概要が別紙に基づき報告された。

(5) 地域政策研究科長報告

2011年度第6回研究科委員会(2011年9月14日開催)の概要が別紙に基づき報告された。

(6) 経済・経営研究科長報告

2011年度第6回研究科委員会(2011年9月14日開催)の概要が別紙に基づき報告された。

(7) 学生部長報告

増加する学生のボランティア活動の把握のため報告を六者会議に依頼した。

陸上部が箱根駅伝の予選会への出場、三扇祭実行員会から三扇祭のキャッチコピーが決まったことが報告された。

気がかりな学生調査と隔年で実施している学生生活実態調査も行う予定である。学内の大きな問題として駐輪対策と喫煙対策があるが、経営企画課から提案があり実験的に1号館前の芝生部分に配布資料のとおり駐輪場約150台分を増設する予定である。

(8) 学術情報センター長報告

学術情報センターグランドビジョン策定に係るアンケートを教員と学生に10月下旬から11月にかけて実施する予定である。専任教員には図書館と情報基盤について、学生には図書館についてアンケートを実施する。これまでの学生アンケートとは異なり、図書館の利用がない学生の声を聞くため教員の協力のもとゼミを中心に配付回収を依頼する予定であるのでご承知おき願いたい。

(9) 地域連携戦略室長報告

地域政策研究センターの研究員の規程について修正した旨の報告がなされた。今後の手続きは学長と事務局に一任する。

(10) 国際交流センター長報告

交換留学生とチューターの対面式を本日、交換留学生の歓迎会を来週19日(水)に、また留学生サービスプログラムによる2回目の視察を11月9日(水)に実施する予定である。

(11) 広報センター長報告

来年度のオープンキャンパスは、来学者アンケートや委員の意見により、改

善を検討する。また、ホームページ上の教員紹介は、未提出者が20人残っているが、ホームページ掲載に向け作業を行う。掲載内容は配布資料のとおりであるが、提出データの他に既存データやリンクなども準備している。

(12) その他

10月23日(日)早朝に光電話への切り替え作業を行う旨、広報情報課から報告された。

5 議事

(1) 高崎経済大学学則の一部改正について

学長から、配布資料のとおり提案があり、第41条(卒業)のただし書きの記載については再検討することとして、原案のとおり承認。

(2) 高崎経済大学再入学規程の制定について

学長から配布資料のとおり提案され承認。

(3) 高崎経済大学大学院学則の一部改正について

学長から配布資料のとおり提案され、学則と同様に扱うことで承認。

(4) 高崎経済大学大学院再入学規程の制定について

学長から配布資料のとおり提案され承認。

(5) 高崎経済大学授業料等徴収規程の一部改正について

学長から配布資料のとおり提案され承認。

(6) 公立大学法人高崎経済大学債権管理規程の一部改正について

学長から配布資料のとおり提案され承認。

(7) 学内競争的研究費(刊行助成)の審査について

学長から、地域政策学部三瓶憲彦教授からの申請について提案があり、承認。

(8) 平成24年度学事日程(案)について

学長から、配布資料のとおり提案され承認。

(9) 年度計画(平成24年度)について

学長から、教育研究審議会の事項及び全学的に対応すべき事項についての計画案が提案され、原案のとおり承認。

(10) 昇任人事 新任人事 内規について

学長から、教授会等の意見を踏まえた修正案が提案され、これを原案として再度教授会に提案し、意見を求めることで承認。

2011年度（平成23年度）第9回教育研究審議会議事録（概要）

1 日 時 平成23年11月16日（水）
午前10時から

2 場 所 第2会議室

3 出 席 者

石川	大宮	水口	村山	大河原
矢野	津川	戸所	佐々木	吉武
唐澤	鷺山			

4 報告事項

（1）学長報告

① 第7回理事会（10月12日）について

高崎経済大学学則及び高崎経済大学大学院学則については、学則第41条及び大学院学則第33条ただし書きを原案から削除し、高崎経済大学授業料等徴収規程第10条第3項に所要の修正を行うことが承認された。

② 第8回理事会（11月8日）について

（ア）公立大学法人高崎経済大学事務職員の採用内定について、新卒卒2人、経験者卒3人とすることが承認された。

（イ）4月から9月までの節電の効果について、昨年同月比電気量マイナス23.33%、電気料金マイナス5.08%金額にして1,396,112円の成果が報告された。

（ウ）放射線量の測定結果について、本学独自に17か所調査を実施し、最大値で0.1 μ Svであり問題ないことが確認された。

③ 平成24年度推薦入試出願状況について

経済学部推薦Aは5年間横這いであるが、地域政策学部推薦Iでは志願者数が本年度減少しているため、一般入試の出願状況を見た上で動向を分析することとする。また、東日本被災者支援特別推薦入試は、経済学部3名、地域政策学部4名の志願者である。

(2) 副学長報告

連携交流担当副学長報告

① 平成24年度大学入試センター試験教員係員表(案)について

1月14日(土)・15日(日)については、配布資料のとおり教員全員が試験監督者として配置されているのでご承知おき願いたい。

② 平成24年度教員免許状更新講習について

11月9日(水)に第1回実行委員会が開催され講習について協議がなされ、今年度と同様に、対象人員を200人、8月7日(火)から8月11日(土)の5日間、受講料は24,000円として実施することとした。

③ 平成23年度(2011年)第1回ホームカミングデイ委員会について

理事会で承認を得た本件について、委員は同窓生と関係教員としており、候補日を三扇祭に合わせた11月3日(土)・4日(日)として検討を始めた。

企画広報担当副学長報告(欠席のため学長が報告した。)

① キャンパス整備検討委員会の設置について

委員は学科ごとに1人ずつ若い教員を中心として5人、事務局からプロパー職員4人が選ばれている。

② 平成23年度奨学奨励費について

11月18日支給予定の5件が新たに決定した。

(3) 経済学部長報告

2011年度第7回教授会(2011年10月19日開催)の概要が配布資料に基づき報告された。

昇任人事・新任人事内規(案)について、「F. α (その他)について、1~3点」と幅があるが決定したほうが良いとの意見が出された。この報告を受け、学長は本件の最終案を学部長と研究科長に一任した。

(4) 地域政策学部長報告

2011年度第7回教授会(2011年10月19日開催)の概要が配布資料に基づき報告された。

留学生サービスプログラムについては、留学生が両学部にもたがため全学的な取り組みとする意見が出されている。本件に関し、対策を国際交流センターで検討するよう学長より提案がなされた。

学長から郷土資料について学部としての意見を求められたので、配布資料

のとおり意見をとりまとめ学長に報告することとした。

(5) 地域政策研究科長報告

2011年度第7回研究科委員会(2011年10月19日開催)の概要が別紙に基づき報告された。

(6) 経済・経営研究科長報告

2011年度第7回研究科委員会(2011年10月19日開催)の概要が別紙に基づき報告された。

(7) 学生部長報告

① 第5回学生相談連絡会議が開催され、気がかりな学生について報告された。

また、平成23年度後期授業料減免について、申請者271人、減免対象者は233人で19,356,400円である。なお、東日本大震災による授業料減免は罹災程度の修正がなされ、15人で1,953,000円となった。

4月以降学生アパート等における深夜騒音について苦情があり、体育会本部と文化サークル協議会にモラルの徹底を要請した。

喫煙マナーが低下しており、特に1号館南側喫煙場所周辺の喫煙マナーが低下しているため、各団体に対してマナーの徹底を要請した。

② 授業料減免について

後期授業料の減免については、前期の単位取得により審査対象となるものであり、学生が通年科目のみの履修の場合は対象とはならないことから、今回減免の対象とならない学生がいることが説明された。学長から来年度以降規程の改正等により対応することが提案された。

(8) 学術情報センター長報告

① 学生出欠管理システムの導入について

平成24年度から各講義への学生の出欠状況を把握するため、各教室にカードリーダーを配置する学生出欠管理システムを導入する。各時限の開始10分前から終了まで記録する。なお、出講管理システムには記録時間が表示される。利用は任意であるが、利用の有無については教員に確認し一覧を作成する予定である。

② 平成23年度図書館郷土資料予算執行に関する決定事項の確認について

図書館郷土資料の予算執行に関して異議申し立てがあり、教員の誤解等もあるため、確認のためこれまでの決定事項を配布資料のとおりまとめた。

(9) 地域連携戦略室長報告

① 産業研究所の公開講座について

公民館で実施する産業研究所主催の公開講座について、今後は地域連携戦略室の主催として全学的に協力をお願いする予定である。

② 東日本大震災被災事業者支援事業について

10月16日(日)・17日(月)に石巻市に、10月21日(金)に大船渡市と気仙沼市に現地訪問している。また、11月13日(日)・14日(月)には(社)建設設備技術者協会と大船渡市の3施設を診断し、詳細結果を2週間以内に個別に報告する。

(10) 国際交流センター長報告

① ドイツ・ルートヴィヒスハーフェン経済大学教授来校について

11月11日(金)にレーヴェカンプ教授が来校し、交流の継続、発展を確認した。

② オーストラリア・ラトロブ大学春季短期語学研修の説明会開催について

11月8日(火)に説明会を開催し、約20名の学生や保護者が参加した。

③ アイルランド・ドイツへの交換留学生の説明会開催について

11月15日(火)に説明会を開催し、約15名の学生や保護者が参加した。11月22日(火)には、留学体験学生説明会を開催し、12月中旬には派遣学生を決定する予定である。

(11) 広報センター長報告

① ホームページのリニューアルについて

(ア) リニューアル後のホームページ運営の基本方針として、各ページの情報更新は各部署がその主体となり責任を明確にし、情報更新の速度を速めることとする。

(イ) ホームページへの教員紹介の掲載作業を11月15日(火)に行った。

② 大学のコンセプトづくりについて

広報活動を行っていく上で大学のイメージを明確に伝えるため、コンセプトづくりの第1段としてキャッチフレーズの作成を開始する。

(12) その他

① 21世紀の社会人セミナー開催実績について

11月7日(月)から11日(金)まで開催した本セミナーは他大学を含め500人を超える学生が参加した。また、今後は12月5日(月)から22日(金)まで合同企業説明会を開催することが学生課から報告された。

② バスクルについて

今後10年間継続することが、地元、群馬県、高崎市の間で決まったが、利用されていない部分もあるため、教員や学生が参加する検討会議を開催したい旨群馬県から提案された。

③ 駐輪場について

研究棟から1号館に向かう通路の駐輪が改善されるよう1号館の前に駐輪場を設置した。

5 議事

(1) 平成24年度新任人事について

学長から、経済学部教授会で承認を得た「商法（会社法）」担当者を講師として、「国際経営論」担当者を准教授として採用候補者とする提案がなされ承認。

(2) 教員の割愛について

学長から、経済学部准教授の割愛の依頼があり、経済学部教授会で本件の承認を得た旨提案がなされ承認。

(3) 平成24年度昇任人事に係る教授昇任枠について

学長から、平成24年度4月の教授枠については、経済学部7人、地域政策学部4人として理事会で承認された旨提案され承認。なお、平成24年度は現在作成中の昇任人事・新任人事内規（案）により承認候補者を決定し、3月14日の理事会に提案する。

(4) 高崎経済大学大学院学則の一部改正について

学長から、高崎経済大学大学院学則（平成23年度規程第2号）に第19条の2を新たに加えることについて、平成23年12月15日から施行し平成23年10月1日から適用することが提案され承認。

(5) 各センター等の規程の一部改正について

学長から、高崎経済大学学術情報センター規程（平成23年度規程第10号）、高崎経済大学国際交流センター規程（平成23年規程第11号）、高崎経済大学地域連携戦略室規程（平成23年度規程第12号）、高崎経済大学広報センター規程（平成23年度規程第13号）、高崎経済大学学生支援センター規程（平成23年度規程第14号）、高崎経済大学キャリア支援センター規程（平成23年度規程第15号）について、構成員の選任方法や任期の定めを追加し、平成23年12月15日から施

行し、平成23年4月1日から適用することについて提案され、文言について意見が出されたため事務局で検討することで承認。

(6) 授業料未納の場合における単位認定の取扱について

学長から、前期は8月、後期は2月までに授業料が納入されない場合は、受験資格がないためその期の単位を認定しないことが提案され承認。これにより学部長又は研究科長は、各教員から既に提出されている成績の修正を行うことを教授会又は研究科委員会で承認を得ることとし、平成23年度後期から適用することが提案され承認。

(7) 公的研究費の管理・監査体制について

学長から、競争的資金等の管理運営について提案がなされ、公立大学法人高崎経済大学における競争的資金等の運営・管理に関する規程、公立大学法人高崎経済大学競争的資金等不正防止推進委員会規程、公立大学法人高崎経済大学における競争的資金等の不正使用に係る調査手続き等に関する取扱規程、公立大学法人高崎経済大学競争的資金等内部監査規程、公立大学法人高崎経済大学科学研究費補助金事務取扱規程について、新たに制定し平成23年4月1日から適用することについて承認。

(8) 2012年度（平成24年度）学部行事予定表について

学長から、配布資料のとおり再度提案され、授業の15週目は総括授業とすることで承認。

(9) 任期付教員について

学長から、平成24年度から任期付の助手を採用できるよう制度設計を行うことが提案され承認。

(10) 高崎経済大学産業研究所細則の一部改正について

学長から、第3条第2項第3号を事務局長から研究推進課長に改める提案がなされ承認。

2011年度（平成23年度）第10回教育研究審議会議事録（概要）

1 日 時 平成23年12月14日（水）
午前10時から

2 場 所 第2会議室

3 出席者

石川	大宮	田中	水口	村山
大河原	矢野	津川	戸所	佐々木
吉武	唐澤	鷺山		

4 報告事項

(1) 学長報告

① 第9回理事会（11月29日）について

(ア) 平成24年度新任人事について

平成24年度の経済学部の新任人事について、承認された。

(イ) 教員の割愛について

経済学部准教授の割愛について承認された。

(ウ) 懲戒処分請求案件について

高木理事長から、理事長及び学長あての手当の支給及び教職員の処分請求について、関係書面の確認及び関係者からの事情聴取などについて説明がなされ、その請求を認めることができないとする提案があり承認された。

(エ) 給与改定について

平成24年1月分の給料から給料表の改定を行うこと、また、当該改定案をもって、労働者過半数代表者との協議を行うことについて提案され承認された。

(オ) 平成24年高崎経済大学事務職員採用試験受験及び内定状況について

1名の辞退者があり、12月9日現在、内定者は合計4名である。

② 平成24年度入学試験実施状況について

両学部及び両研究科の現在までの状況を報告する。また、募集要項の配布

部数と受験者数の割合も参考にさせていただきたい。

- ③ 平成23年度成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業の採択について

事業が採択となり着手した。

- ④ 教育研究審議会の開催日程の変更について

3月19日(月)午前10時からを、3月14日(水)午前10時に変更する。

- ⑤ その他

週刊ダイヤモンドに掲載された就職に強い大学ランキングでは、本学は180位、日経グローバルの全国大学の地域貢献度ランキングでは、本学は146位となっている。指標が様々であるため、総合ランキングではなく各項目を分析し検討する。

(2) 副学長報告

連携交流担当副学長報告

- ① 平成24年度教員免許状更新講習について

第2回の申請に合わせて準備を進めており、平成24年3月16日以降の受講者募集開始を目指している。内容については、選択領域の担当者も決定してきている。

- ② 就業力支援事業について

11月19日(土)に都内においてOB・OG交流会を開催し、学生約60人、OB・OG約30人が参加した。1月21日は本学で全国のOB・OGとの交流会を実施するので学生に周知願いたい。

- ③ 高度アグリビジネスについて

11月7日から事業のスタートが認められて、12月13日(火)にJAビルにおいてシンポジウムを開催し、約80名の参加者があった。

- ④ ホームカミングデイについて

11月16日に第2回の会議を開催し、12月16日に第3回目の会議を開催する。1月には大卒を決定し全国の卒業生に発信する予定である。

企画広報担当副学長報告

- ① 公立大学協会副学長会議について

12月5日(月)・6日(火)に開催され、初日はリスクマネジメント、2日目は財務研修があった。関心のある方は資料をご覧ください。

② 高崎経済大学奨学奨励費取扱要綱について
対象範囲を広げるよう変更する予定である。

③ 留学生の増加について

来年度から、学生の長期・短期海外留学を増やすため、国際交流センター長及び学生課と検討を始めた。

(3) 経済学部長報告

2011年度第8回教授会(2011年11月30日開催)の概要が配布資料に基づき報告された。

(4) 地域政策学部長報告

2011年度第8回教授会(2011年11月30日開催)の概要が配布資料に基づき報告された。

なお、事後届の海外出張の取り扱いについて、本審議会として教授会で再度審議するよう依頼する。

(5) 地域政策研究科長報告

2011年度第8回研究科委員会(2011年11月30日開催)の概要が別紙に基づき報告された。

(6) 経済・経営研究科長報告

2011年度第8回研究科委員会(2011年11月30日開催)の概要が別紙に基づき報告された。

(7) 学生部長報告

① 平成23年定期健康診断報告会について

受診者はほぼ横ばいで60%を割り込んでおり、眼科ではコンタクトレンズ傷害、歯周病が多いことなどがあげられる。1年生と4年生の受診率は良いが、全体で受診率が上がるよう対策を講ずる必要性を確認した。

(8) 学術情報センター長報告

① 統合データベースの構築について

データベースの追加情報については、本審議会委員には電子メールで送付するので、12月21日(水)までに確認され意見を願います。

ソフト分析ツールについて、Dr. Sum EA Datalizer for Excel とすることとする。また、権限については、学長を中心に決定することが提案され、2月末までに決定することとした。

(9) 地域連携戦略室長報告

① 地域づくり協働モデル事業について

各種団体により構成される委員会を組織するため、本学からも委員の推薦をする旨報告がなされた。しかし、申請時の本審議会の決定事項と大きく異なっているため、大学と委員会の位置付けなど、早急に整理することとした。

(10) 国際交流センター長報告

① オーストラリア・ラトロブ大学春季短期語学研修の派遣学生の説明会開催について

平成24年2月から3月までの5週間の春季語学研修に15名の学生の応募があった。

② アイルランド・ドイツへの交換留学の選考について

アイルランド・ダブリン・シティ大学に5名、ドイツ・ルートヴィヒスハーフェン経済大学に5名の応募があり、面接により両校各2名を内定した。

③ 国内採用による国費外国人留学生の募集について

文科省から依頼があり、4名の応募があり面接を実施し1名を決定し推薦した。

6 議事

(1) 平成24年度新任人事について

学長から、地域政策学部で承認を得た「都市経済論」担当者を准教授として採用候補者とする提案がなされ、承認。

(2) 任期制助手について

学長から、任期制助手の採用について提案がなされた。業務内容は学部の教務補助及び研究補助とする。助手の行う業務は学部長の指示によるものとする。勤務日数等検討すべき点があるなどの意見が出された。規程を策定する段階で全体を検討することとして、承認。

(3) 公立大学法人高崎経済大学自己点検・自己評価委員会規程の制定について

学長から、配布資料のとおり提案がなされ、承認。

(4) 自己点検・自己評価について

学長から、自己点検・評価実施スケジュールの説明がなされ、今年度は大学評価で勧告・助言・総評に記載されている事項及び外部評価委員会の意見を踏まえて自己点検・自己評価を実施する。また、新たな組織は今年度独自に自己点検・自己評価を実施し、評価結果から改善計画を策定する。認証評価結果「総

評」における意見及び外部評価委員会の意見については、全て自己点検・自己評価を実施する。なお、実施した結果は、自己点検・評価結果整理シート（案）により、1月末までに経営企画課に提出することが提案され、承認。

(5) 地域政策研究センター研究員の委嘱について

学長から、配布資料のとおり、地域政策研究センター研究員を委嘱する提案がなされ、承認。

2011年度（平成23年度）第11回教育研究審議会議事録（概要）

1 日 時 平成24年1月5日（木）
午前10時30分から

2 場 所 第2会議室

3 出席者

石川	大宮	田中	水口	村山
大河原	矢野	津川	戸所	佐々木
吉武	唐澤	鷺山		

4 報告事項

(1) 学長報告

① 第10回理事会（12月15日）について

第10回理事会の議事について、教育研究審議会の議事になっているものは説明を省略する。

(ア) 平成26年度までの人員縮減計画（案）について

平成28年度までの中期計画では、事務組織の見直しや外部委託の活用などを推進し事務の合理化を図ることとしている。平成26年度までに60人の事務職員を5人（8.3%）減員し55人とする。平成24年度における縮減計画は、組織の改編により1人減員し、平成25年度及び平成26年度2か年で4人減員することが提案され承認された。

② 第4回経営審議会（12月15日）について

第4回経営審議会の議事について理事会と同様であるため省略する。

③ 地域づくり協働モデル事業の委員の推薦について

本事業の事業主体である高崎市域震災復興支援委員会のメンバーについて、地域連携戦略室長より地域連携戦略室運営会議の議により選出された本学教員を委員として推薦願いたいとの依頼が学長になされたため、別添の7名を委員として推薦した。今後の地域づくり協働モデル事業は本学ではなく、高崎市域震災復興支援委員会が実施をすることとなる。

④ 平成24年度事務職員採用内定者の状況について

新たに1名の辞退者があり、1月5日現在、内定者は合計3名である。

(2) 副学長報告

連携交流担当副学長報告

① 就業力育成ネットワーク2012 in 高崎について

本事業は、1月21日(土)に本学で開催を予定している。本学卒業生のみちのく銀行代表取締役頭取やテレビ北海道代表取締役社長の講演を始め、全国から50人弱のOBやOGが集まる予定である。特にゼミを中心に3年生と2年生に対して重ねて周知願いたい。なお、締め切りは延期する。

② 高崎経済大学第1回ホームカミングデイについて

学園祭開催中の11月3日の午後1時から731教室を中心に開催する案を作成したので、皆さんの意見をいただきたい。また、記念講演会と懇親会の間にOB・OG交流会を開催するという案も出ているため、創意工夫しながら最終案を作成するので協力願いたい。また、予算は総額300万円を要求している。なお、学部学科が中心となって開催する例なども参考にすべき等の意見が出された。

企画広報担当副学長報告

① 科研費の監査の実施について

2名の教員を選定し監査を実施し、予算が適正に執行されていることを確認した。

② 海外留学にともなう業者説明会について

学生の長期及び短期海外留学を来年度実施するにあたり1月24日(火)に旅行業者等を集め説明会を行う予定である。

(3) 経済学部長報告

2011年度第9回教授会(2011年12月21日開催)の概要が配布資料に基づき報告された。

(4) 地域政策学部長報告

2011年度第9回教授会(2011年12月21日開催)の概要が配布資料に基づき報告された。なお、資料では「履修登録制限をしない」こととなっているが、これは記載誤りであり各学年とも44単位とすることについて承認を得ている。

(5) 地域政策研究科長報告

2011年度第9回研究科委員会（2011年12月21日開催）の概要が別紙に基づき報告された。

(6) 経済・経営研究科長報告

2011年度第9回研究科委員会（2011年12月21日開催）の概要が別紙に基づき報告された。

(7) 学生部長報告

別紙に基づき報告された。

(8) 学術情報センター長報告

① 情報セキュリティポリシーの改定について

情報セキュリティ委員会を2月中に開催し、今年度中に情報セキュリティポリシーを改定する予定である。

② 「地方史研究協議会受贈図書に関する覚書」の協定に関する方向性について

本センターでは別添資料のとおり改定するよう地方史研究協議会と協議に入ることを決定した。なお、地方史研究協議会は大学の歴史系教員を中心に組織された全国的な学会である。

(9) 地域連携戦略室長報告

① 地域づくり協働モデル事業について

前回の教育研究審議会で学長から指摘のあった事業主体について、群馬県に確認したところ、新たに委員会を設置し、その委員会が事業主体となり事業を推進することになっているとのこと。このため確認した内容のとおり進めるものである。この場合本学の一部を事務スペースとして使用できるよう理事長に依頼する予定である。また、第1回委員会を1月11日（水）に実施する予定である。

(10) 国際交流センター長報告

① 学生名簿について

国内採用による国費外国人留学生、オーストラリア・ラトロブ大学春季短期語学研修、アイルランド、ドイツへの交換留学生について、別紙のとおり学生名簿を作成した。

(11) その他

① 公立大学法人高崎経済大学施設貸付の概要について

大学業務に支障のない範囲で、施設を学内者以外に貸付けることができるものとして定めるものである。学内者であっても本来業務以外の目的で使用

する場合は学内者以外の者として取扱い、短期貸付けの期間は半日又は1日単位とする。事務手続きは、別添申請書を経営企画課に提出し、許可証を交付するというものである。施設別貸付料及び貸付料の減免基準は別添のとおりであるので確認願いたい。なお、これを規程として制定し平成23年4月1日から遡及適用する予定である。

5 議事

(1) 公立大学法人高崎経済大学任期制助手に関する規程（案）について

学長から、別紙のとおり提案がなされた。この制度について改善すべき点が生じた場合は、随時検討し必要な改善を図る予定である。また、本案を18日の理事会に提案し承認を得た後に、過半数代表者の意見を聴いた上で定める予定である。本件に関して意見等がある場合は、理事会までに意見を提出することで、承認。

(2) 産業研究所の所員の追加任命について

学長から原案のとおり提案があり、承認。

(3) 留学生サービスプログラムについて

学長から、来年度からの留学生サービスプログラムについて提案がなされ、国際交流センター長から詳細な説明がなされた。しかし、検討課題が指摘されたため、国際交流センター長と両学部長により、来年度に向けた短期的な対応と中期的な対応について検討し、来月の教育研究審議会に案を提出することで、承認。

2011年度（平成23年度）第12回教育研究審議会議事録（概要）

1 日 時 平成24年2月4日（土）
午前10時から

2 場 所 第2会議室

3 出 席 者

石川	大宮	田中	水口	村山
大河原	矢野	津川	戸所	佐々木
吉武	唐澤	鷺山		

4 報告事項

（1）学長報告

① 第11回理事会（1月18日）について

（ア）任期制助手の平成24年度任用枠について

労使協議を経るため若干の変更が考えられるが、4月から2人採用することが承認された。

（イ）平成24年度事務局組織改編案について

総務課と経営企画課を総務課とし、総務課総務担当と経営企画課企画担当を統合し、1人縮減することが承認された。

（ウ）〇〇教授からのメールへの対応について

高木理事長から、地域政策学部〇〇教授からの文書及びメールによる意見等に対して、原案のとおり回答したいとの提案があり、全員異議なく承認された。

② 平成24年度入学試験実施状況について

昨年に比べ全体で1,685人減少し、厳しい状況となっている。試験場別志願者数では、大阪試験場及び名古屋試験場の前期は40%以上、札幌試験場、仙台試験場及び岡山試験場の前期並びに金沢試験場の後期は50%以上の減少である。この結果を分析し、広報や入試対策を考えていく必要がある。なお、本学は一定の志願者数を確保していることで評価を得ているので、そ

のことを考慮して対応する必要があるとの意見が出された。

- ③ 平成24年度の専任教員と非常勤講師による教科担当者連絡会議について
平成24年度3月中の実施を検討している。

- ④ 平成23年度内の学長表彰の推薦について

高崎経済大学学則第46条により、学部教授会の推薦により学長表彰ができるため、両学部で対象者がいる場合は推薦をお願いする。学業の優秀者を表彰する制度の制定について意見が出されたため、学部及び研究科の意見を聴き、来年度に向けての検討課題とすることとした。

- ⑤ 学内事務室、名誉教授室等の整備について

図書館1階の特別閲覧室と学会室を統合し、研究推進課事務室とする。研究棟103号室を経済学会及び地域政策学会室とし、研究棟416号室を名誉教授室とする。平成25年4月1日以降は、6号館1階及び2号館脇の旧特任教授室を廃止する。

- ⑥ 平成24年度新規事業として予定の案件について

予算は確定していないが、高崎市から2つの事業の提案を受け、両副学長が検討を行っている。連携交流担当副学長からは、まちなか再生教育実践事業として、中心市街地において、本学が中心となった教育実践活動を行う事業を検討していることが報告された。企画広報副学長からは、夏季休業及び春季休業を活用して、学生を海外へ積極的に派遣する事業を検討していることが報告された。

- ⑦ 学科会議規程の作成について

大学評価で指摘を受けている学科会議規程を制定し、新年度から施行できるように検討願いたい。

(2) 副学長報告

連携交流担当副学長報告

- ① 高崎経済大学第1回ホームカミングデイについて

基本的な枠組みが決まりホームページに掲示した。11月3日に記念式典、記念講演、交流会を実施する。特に交流会を充実させ参加する教員の名簿を作成し公開をするよう努めたい。7号館1階に特別展や映像を放映することを検討している。

- ② 就業力育成ネットワーク2012 in 高崎の実施について

1月21日(土)に本学で開催し、参加者は同窓生50人、学生176人

が参加し、盛況のうちに終えることができ、協力いただいた方々に感謝申し上げます。

③ F D ・ S D 研修会日程について

2月15日に予定されていた研修を変更し、2月29日（水）午後1時30分からコンプライアンス及びハラスメントに関する研修会を開催する。

また、3月2日（金）午前10時から就職支援に関する研修会を開催する。

④ 文部科学省の新たな枠組みへの参加について

文部科学省は、新たに地域ごとの大学間連携による就業力支援事業として予算措置した。新潟大学が北関東と北信越の代表となっており、来年度参加するか否かの問い合わせがあり、今年度までの事業は就業力育成事業とキャリア支援事業のマッチングが難しかったことから、キャリア支援センターの事業として実施できることを条件に2月3日付けで参加する旨を回答した。なお、5年間の予定であった就業力育成支援事業は終了することとなった。

企画広報担当副学長報告

① 第1回情報セキュリティ委員会の開催について

第1回委員会を2月8日（水）14時から開催し、その議題の2にある情報セキュリティ研修の開催を3月21日（水）13時30分から、外部講師を招いて実施することが承認された。対象者は教職員全員として、研修内容は段階を追って進めていく予定である。なお、本件は危機管理として重要な研修と考えている。

② 奨学奨励費について

申請に基づき随時審査委員会を開催し2件が採択され、大学院生の学会発表とサークル活動に給付する予定である。

(3) 経済学部長報告

2011年度第10回教授会（2012年1月5日開催）の概要が配布資料に基づき報告された。

(4) 地域政策学部長報告

2011年度第10回教授会（2012年1月5日開催）の概要が配布資料に基づき報告された。なお、履修登録の制限について、卒業単位に含まれるもののみを対象としている。

(5) 地域政策研究科長報告

2011年度第10回研究科委員会（2012年1月5日開催）の概要が別

紙に基づき報告された。

(6) 経済・経営研究科長報告

2011年度第10回研究科委員会（2012年1月5日開催）の概要が別紙に基づき報告された。

(7) 学生部長報告

キャリア支援センターでは2012年度から公務員セミナーを民間会社と提携すべく調整しており、これまでの公務員セミナーが大きく変わる予定である。旅行業務取扱管理者養成セミナーも同様に見直しする。また、同窓会との連携を強化し就職相談会を各地域で開催する予定である。

新入生に対する授業料減免は成績判定が難しいことから後期からとなっており、これを前期から実施できるよう検討している。

また、大学評価や市議会から独自の奨学金について意見が出されたため、同窓会と後援会から奨学金が支給されていることを改めて別紙のとおり報告する。

(8) 地域連携戦略室長報告

① 第1回高崎市域震災復興支援委員会について

1月11日（水）に第1回委員会を開催し、議事である規則の制定、役員選出及び事業計画案が、原案のとおり承認されるとともに、被災地からの報告も行われた。次回は3月14日に開催する予定である。

② 産業研究所プロジェクトについて

研究テーマを「デフレーション現象への多面的接近」として研究がスタートした。

③ 地域政策研究センターニュースについて

震災に対する大学の対応について掲載する予定である。

(9) 国際交流センター長報告

オーストラリア・ラトロブ大学春季短期語学研修の参加者説明会が、1月17日（火）、27日（金）及び31日（火）に開催された。学生は2月14日（火）に出発し3月25日（日）に帰国する。

中国・中央財経大学夏季短期語学研修の単位認定について、中国側教員、日本側事務局、学生との間で誤解があった。学生の要望により、本語学研修に参加した経済学部の3人の単位認定を教授会に依頼した。今後は再発防止の徹底に努める。

(10) 広報センター長報告

オープンキャンパスの日程については、別紙のとおり広報センター運営会議で決定されたが、変更になる可能性があるため再検討する。また、大学案内及び大学院案内の作成は早めに対応することが確認されており、2月中には掲載情報を確定する予定である。

ホームページ上の教員紹介の情報更新は、現在のフォーマットのままホームページのリニューアルに合わせて4月1日にアップする予定である。

上信電鉄の上州富岡駅、上州一ノ宮駅に1月30日（月）から本学の看板が設置された。

(11) その他

① ××教授から〇〇教授のメール等に対する意見

××教授より〇〇教授からのメール等に対して意見が述べられた。

② 設備点検等の実施日程について

設備の定期点検等を次の日程で実施する。2月18日（土）に、体育館、4号館、5号館及び事務棟は断水となる。2月20日（月）から23日（木）までの間、全館の空調機のフィルターの清掃を行う。2月24日（金）に、体育館が午前中停電となる。3月19日（月）から30日（金）までの間、火災報知器の定期点検を行う。

5 議事

(1) 任期制助手の採用について

学長から、別紙のとおり提案がなされ承認。任期制助手募集要項案により募集するが、特に応募資格にPCを使用したデータ分析を必須とすることを明記した。履歴書は業績及び志望理由欄を設けた指定様式により提出させ、募集期間は2月6日（月）から2月29日（水）とし、選考方法は書類審査の後に面接審査を行う。面接官は両副学長と両学部長とし、3月10日（土）に面接を行い、3月14日（水）の教育研究審議会に提案する。なお、JREC-INには本日から掲載する。

(2) 学長選考会議の委員の選出について

学長から、学長選考会議の委員の選出について提案がなされた。公立大学法人高崎経済大学学長選考会議規程第2条第2号に基づき教育研究審議会から3人を選ぶが、2人は各学部教授会から1人ずつ推薦された審議会委員を教育研究審議会承認し、残る1人を投票で選出することで承認。

(3) 教員の評価について

学長から、別紙公立大学法人高崎経済大学教員評価要綱（案）に基づき提案がなされた。2種類の評価を設け、第1の評価の対象事項は、各センター等での活動及び教授会等運営上必要な会議への出席などであり、6月と12月の勤勉手当に反映するというものである。増額は本年6月支給分から、減額は本年12月支給分からとする予定である。第2の評価の対象事項は、研究業績として3年間の実績を評価し、第1の評価に追加し処遇に反映するというものである。地方独立行政法人法、定款及び中期計画により評価を行うことが位置付けられている。教授会の意見を踏まえ今年度中に決定する。教授会等運営上必要な会議への出席などの減点に対する意見が出され、教授会や学科会議等にすべて欠席した場合は各50点減点とし、30点、20点と段階的に配点する案に訂正し、教授会に提案することで承認。

(4) 平成24年度教育研究審議会及び教授会等の日程について

学長から、別紙のとおり提案され承認。

(5) 高校訪問の取り組みについて

学長から、提案がなされ、広報センター長から詳細な説明がなされた。出前授業は、業務上の位置づけを明確にし、入試広報活動戦略の一環として実施する。来年度からタクシー代を支給し、手当の支給についても検討し、常に全学的な事業として行うことで承認。

(6) 留学生サービスプログラムについて

学長から、国際交流センター長と学部長の協議を踏まえ、国際交流センターの委員を2人増員し、同センターで実施すること、また、学生課のみならず学務課が協力して進めることが提案され承認。

(7) 年度計画の評価について

学長から、業務実績報告書の作成について説明がなされ、評価の基準、評価の実施及びスケジュールについて承認。

2011年度（平成23年度）第13回教育研究審議会議事録（概要）

1 日 時 平成24年3月14日（水）

午前10時から

2 場 所 第2会議室

3 出席者

石川	大宮	田中	水口	村山
大河原	矢野	津川	戸所	佐々木
吉武	唐澤	鷺山		

4 報告事項

（1）学長報告

① 第12回理事会（2月15日）、第5回（2月15日）・第6回（3月13日）
経営審議会について

別添資料のとおり報告がなされた。

② 平成24年度入学試験実施状況について

国立大学及び公立大学の人文社会学系を対象に、大学別募集人員、志願者数や得点などについて分析を行ったので参考に提示する。

③ 教科担当者連絡会議の開催について

3月30日午前11時から非常勤講師を対象として、教科担当者会議を開催するので専任教員も参加願いたい。

④ 非常勤講師との雇用契約について

来年度から別添資料のとおり雇用契約を結ぶこととする。

⑤ まちなか教育活動センター事業にかかる委員会について

来年度から実施する標記事業について委員会を設置するので、次回教育研究審議会にて委員を決定する。

（2）副学長報告

連携交流担当副学長報告

① FD・SD研修について

2月29日（水）及び3月2日（金）に実施し今年度を終了した。

② 就業力育成支援事業について

今年度の事業のとりまとめを行っており報告書を作成中である。

企画広報担当副学長報告

① 公立大学法人高崎経済大学ハラスメントの防止等に関する規程の一部改正について

厚生労働省から定義が示されたので、これに準じて改正する。

② 奨学奨励費について

さらに二人を認定し、今年度総額142万円の支給が決定された。

③ 来年度の学生の海外派遣留学制度の新設について

国際交流センター長を中心に進めており、学生への周知に協力願いたい。

④ 公立大学協会の会議について

3月5日（月）にIRコンソーシアム研修が公大協事務局で開催され、概要について報告がなされた。

⑤ 情報セキュリティ研修会の開催について

3月21日（水）に開催するので出席願いたい。

⑥ 大学案内の作成について

3月21日（水）にプロポーザル実施に伴う委員会を開催する。

(3) 経済学部長報告

2011年度第11回教授会（2012年2月4日開催）及び第12回教授会（2012年3月2日開催）の概要が配布資料に基づき報告された。

(4) 地域政策学部長報告

2011年度第11回教授会（2012年2月4日開催）及び第12回教授会（2012年3月2日開催）の概要が配布資料に基づき報告された。

(5) 地域政策研究科長報告

2011年度第11回研究科委員会（2012年2月15日開催）及び第12回研究科委員会（2012年3月2日開催）の概要が配布資料に基づき報告された。

(6) 経済・経営研究科長報告

2011年度第11回研究科委員会（2012年2月15日開催）及び第12回研究科委員会（2012年3月2日開催）の概要が配布資料に基づき報告された。

(7) 学生部長報告

配布資料に基づき報告がなされた。なお、レポートの提出について不正が認められるとの報告があり事実確認を行った。不正は認められなかったが、サイトのコピーを提出したため嚴重注意とした。委員から対策ソフトの導入など意見が出されたが、学長からまずは指導の徹底を行うよう指示がなされた。

(8) 学術情報センター長報告

① 学生出欠管理システムの運用開始について

利用する教員は、学生に4月中にICチップ内蔵の学生証に交換するよう周知願いたい。

② 学外の情報サイトへのアクセス制限の緩和について

来年度から原則自由化する。ただし、情報セキュリティの観点から、危険性の高い情報サイトへのアクセスは制限する場合がある。

③ 図書館ガイダンスの実施について

来年度も実施するが、日程については後日教授会で報告する。

(9) 地域連携戦略室長報告

① 被災事業者復興支援相談会について

石巻圏域及び東北被災地域の被災事業者を対象に、3月15日(木)石巻専修大学において実施する。

② 高崎市域震災復興支援委員会

本委員会で実施した事業を報告書として取りまとめたので、後日配布する。

③ 高大連携事業について

高崎経済大学と高崎市立高崎経済大学附属高等学校との間で、大学生と高校生が少人数で学習する高大コラボゼミの報告書が配布された。

④ 産業研究所の公開研究会について

教育情報公表の義務化とリメディアル教育として、本日16時30分から実施するので参加願いたい。

(10) 国際交流センター長報告

交換留学の日本語のレベルによりクラスを2クラスにせざるを得ないなど担当教員からの要望を受け、両学部とセンターで対応を進めることとなった。

また、本学の留学制度のパフレットを作成中である。

(11) その他

経営企画課長から平成24年度予算について、別添資料により説明がなさ

れた。

5 議事

(1) 教員の昇任人事について

学長から、経済学部講師2名の准教授昇任、地域政策学部准教授2名の教授昇任、講師3名の准教授昇任について、別添資料のとおり昇任候補者として適格であるとの提案がなされ承認。

なお、内部の昇格については、次回以降履歴書を添付しないこととする。

(2) 任期制助手の選考について

学長から、選考結果について提案がなされ承認。

(3) 学長選考会議委員の選出について

学長から、教授会推薦の大宮登教授、水口剛教授について提案がなされ承認。学長及び上記兩名を選出対象から除き投票が行われ、次のとおり決定した。

矢野 修一 教授

(4) 学生相談員の交代について

学長から、大石恵准教授が来年度長期国外派遣研究のため、学生相談員を交代する提案がなされ承認。

(5) 教員評価要綱（案）について

学長から、評価は定款及び中期計画に記載されており、法人化以前から周知されていることが示され再確認された。両学部からの意見が提出されたが、評価を6月から始め12月の勤勉手当から適用する案が提案され承認。次回以降も継続議論するため、次回審議会の1週間前までに委員の意見を提出願いたい。

(6) 名誉教授の称号授与について

学長から、授与の期日について、4月1日付けとする提案がなされ承認。委員からの意見により選考方法は今後の検討課題とする。

(7) 入試課題検討委員会（仮称）の設置について

学長から、全学的かつ総合的に課題を検討するもので、学部長を中心に各学部から委員を選定し、次回審議会で決定することが提案され承認。

(8) 平成24年度年度計画について

学長から、別添資料のとおり提案がなされ承認。

(9) 事務局組織改編に伴う規程の改正について

学長から、総務課と経営企画課を統合し総務課へ、教授会と研究科委員会の

庶務が学務課となるなど関係諸規程の一部改正について提案され承認。

(10) 情報セキュリティポリシーの改定について

学長から、別添資料のとおり提案がなされ承認。

(11) 「高崎経済大学による復興支援の取り組み」シンポジウムの開催について

学長から、別添資料のとおり提案がなされ承認。なお、意見等があれば地域連携戦略室長まで提出願いたい。

(12) オープンキャンパスの日程について

学長から、7月16日(月・祝日)と8月5日(日)の実施が提案され承認。

(13) その他

① 学生証のICカード化に伴う再発行事務の有料化について

学長から、別添資料のとおり提案がなされ承認。

② (社)建築設備技術者協会との協定の延長について

学長から、本協定について1か月の延長が提案され承認。